

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-62395

(P2003-62395A)

(43) 公開日 平成15年3月4日 (2003.3.4)

(51) Int.Cl.⁷
D 0 6 F 57/12

識別記号

F I
D 0 6 F 57/12

テーマコード(参考)

Z

審査請求 未請求 請求項の数 4 書面 (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願2001-304195(P2001-304195)

(22) 出願日 平成13年8月25日 (2001.8.25)

(71) 出願人 501380841

内堀 秀俊

栃木県宇都宮市下河原1-2-8ドミール
河原501号

(72) 発明者 内堀 秀俊

栃木県宇都宮市下河原1-2-8ドミール
河原501号

(72) 発明者 内堀 月枝

栃木県宇都宮市下河原1-2-8ドミール
河原501号

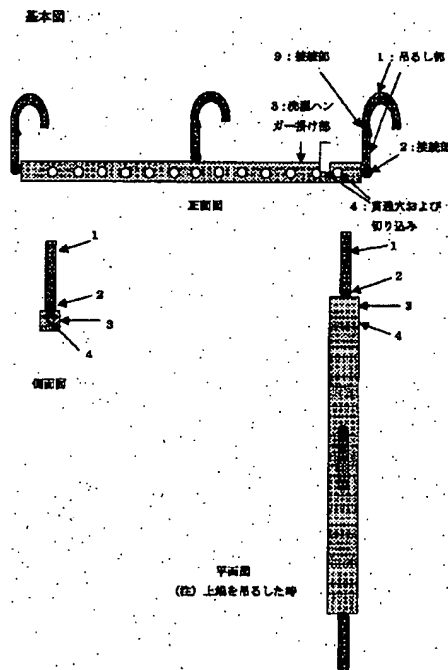
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 万能連風ハンガー吊り

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 沢山の洗濯物を吊り下げる洗濯ハンガーではなく、単一ハンガーを沢山吊り下げることができるワイヤーハンガーを主体とするハンガー吊り具を提供する。

【解決手段】 物干し竿や壁面上部の棧に吊るすための吊るし部1、吊るし部1と洗濯ハンガー掛け部3とを接続し且つ洗濯ハンガー掛け部3に対して吊るし部1を90度曲げられる接続部2、洗濯ハンガー掛け部3、洗濯ハンガーを吊るすための貫通穴、および洗濯ハンガーを引っ掛けるための切り込み、のいずれかまたは両方からなる貫通穴および切り込み部4から構成され、吊るし部1は、洗濯ハンガー掛け部3の両端に装着し、ハンガー掛け部3の強度によっては両端間に必要数を設けることを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】洗濯物を吊るした複数の洗濯ハンガーを、洗濯物に応じて適切な間隔を持たせて、水平方向ならびに垂直方向に吊るして洗濯物を乾燥させることができるハンガー吊り具。

【請求項2】請求項1のハンガー吊り具において、コンパクトに収納するため、ならびにコンパクトに使用するため、ハンガー吊り具を2つ折りないしは3つ折りにできることを特徴とする、ハンガー吊り具。

【請求項3】請求項1のハンガー吊り具に吊られる洗濯ハンガーの吊るす部分の様々な形状に対応できるよう、洗濯ハンガーの吊るす部分を差し込む挿入穴、ならびに洗濯ハンガーの吊るす部分を引っ掛けることができる切込み部、の一方ないしは両方を持たせたことを特徴とする、ハンガー吊り具。

【請求項4】請求項1のハンガー吊り具において、当該ハンガー吊り具を有効活用するために、沢山の小物洗濯物、ならびにバスタオルおよび同等サイズの洗濯物を吊るすことができることを特徴とする、ロングハンガー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、洗濯物を吊るした複数の洗濯ハンガーを、適切な間隔を持たせて水平方向ならびに垂直方向に吊るして、洗濯物を干すことができることを大きな特徴とする、ハンガー吊り具に関するものである。

【0002】

【従来の技術】図7に従来の主要ハンガーを示す。ハンガー吊るし部71を洗濯場の入り口上部などに吊るして、洗濯バサミ72で洗濯物を吊るしたり、棒74に洗濯物を掛けたりして、これらのハンガーを物干し竿に吊るして洗濯物を干していた。また、洗濯物75を吊るしたハンガー76を、物干し竿77に吊るして干していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】図7において、ハンガーの吊るし部71を棧に引っ掛けて、洗濯物を洗濯バサミ72、棒74に吊るす場合、左右のバランスを考えながら洗濯物を吊るさないと、バランスが崩れて棧からハンガーが落下してしまうことが少なくない。特に壁面を持つ棧にハンガーを引っ掛けて洗濯物を吊るす場合はより一層落下の危険度が高まる。また、バスタオルなどの大型の洗濯物を吊るすことには不向きな構造となっている。また、洗濯物を吊るし終わってから物干し竿まで運ぶのに向いた構造とは言い難く、特に、長く垂たらし洗濯物を吊るしている場合は、引きずらないように高く掲げて運ぶ必要があり、結構な腕力を要する。さらには、降雨、降雪の日など室内で干さなければならない時に、前記と同様に壁面に吊るした場合は、落下の危険のみならず、ハンガーを傾けざるを得ないために洗濯物は

傾いて皺ができ乾燥し難くなってしまう。一方、ハンガー76で選択物を物干し竿に、沢山並べて吊るした場合、風によりハンガーが風下に集まってしまう、洗濯物が密着してしまい乾き難くなってしまう。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明の万能連風ハンガー吊りは、図1の基本図に示す様に、物干し竿や壁面上部の棧に吊るすための吊るし部1、吊るし部1と洗濯ハンガー掛け部3とを接続し且つ洗濯ハンガー掛け部3に対して吊るし部1を90度曲げられる接続部2、洗濯ハンガー掛け部3、洗濯ハンガーを吊るすための貫通穴、および洗濯ハンガーを引っ掛けるための切り込み、のいづれかまたは両方からなる貫通穴および切り込み部4から構成され、吊るし部1は、洗濯ハンガー掛け部3の両端に装着し、ハンガー掛け部3の強度によっては両端間に必要数を設けることを特徴とする。

【0005】

【発明の実施の形態】本発明の万能連風ハンガー吊りの使用法は、図2で示す様に壁面の有無に関わらず、吊るし部1を洗濯場の入り口や壁面などに掛けて、洗濯物6を洗濯ハンガー5に吊るして、貫通穴4あるいは切り込み4にセットして行く。そして、図3に示すように物干し竿7ないしは相当物にぶら下げることで、洗濯物を干すことができる。また、貫通穴4あるいは切り込み4は、ぶら下げる洗濯ハンガーの種類に対応し、サイズの異なるものを設けることや、間隔を細かくすることにより多くの洗濯ハンガーすなわち多くの洗濯物を収容することができる。そして、これらの貫通穴4あるいは切り込み4を利用し、洗濯物の乾き易さ・乾き難さ、湿度の高低・風の有無などの気象条件を考えて、洗濯ハンガーをかける間隔を適切に調整できる。

【0006】また、図4は本発明である万能連風ハンガー吊りをより一層便利にするロングハンガーで、吊り下げ部41および45、洗濯物ぶら下げ部42および43、洗濯バサミ部44で構成される。特に洗濯物ぶら下げ部43の下段は、バスタオルがかけられるロングサイズとしたものであり、ロングサイズとしたことにより洗濯バサミ44が沢山取り付けことができ、靴下などの小物洗濯物を沢山ぶら下げることができる長所がある。尚、ロングハンガーは固定構造のほかにも両端を折り畳む構造や伸縮構造としても良く、いづれも大型洗濯物を干せる機能にかわりはない。

【0007】尚、吊り下げ部41は、万能連風ハンガー吊りに掛けるまでの作業時ならびに単独使用時に壁面に掛け易くするために、90度回転できる構造を持たせている。また、単独使用時に風などで吊り下げ部41以外が動くのを止めるため、41と45を固定できることが望ましい。

【0008】図5は、降雨、降雪など屋内で使用する場合、ハンガー掛け部3の下端に、安定機構53を取り付

け、翼部56が床面に接するべく翼固定機構55を固定し、洗濯物52の床面接触加減と洗濯物52群の適切な間隔に配慮してハンガー掛け部固定機構54をロックする。尚、可動部9を設けることにより吊るし部1にかかる力を垂直方向にでき安定性を高められる。この様に垂直方向でも使用できるので、従来の水平方向の干し方に比べてスペースを取らずにすみ鬱陶しさを大幅に軽減できる。一方、壁面がなくて下に大きなスペース空間がとれる桟があるならば、図3に示した屋外と同じ様に水平で使用できる。

【0009】図6は、本発明の万能連風ハンガー吊りを取納するのに便利なように、2つ折りならびに3つ折りできるコンパクトな構造にして提供できることを示す。61、62、65はハンガー吊り部、63、64と66、67は図で明らかなように広げた時に61と62および62と65を密着固定する留め具である。尚、使用する時も2つ折りの場合はこの構造で使うことができ、3つ折りの場合は一例として61、62、65を固定する留め具を持たせればコンパクトに折り畳んだまま使用できる。

【0010】

【実施例】図2、図3、図4、図5、図6は、いずれも本発明の実施例である。

【0011】

【発明の効果】図5で示す様に、降雨や降雪時でも、垂直方向に洗濯ハンガーを吊り下げて使用できるため、スペースを取らずに安定した状態で洗濯物を干すことができる。

【0012】洗濯物の間隔を適切に調整して干すことができるので、干す時間が短縮できる。例えば、タオルなどは間隔を狭くして沢山吊るし、ジーンズなどのように乾き難い厚手の洗濯物の場合は、周囲の間隔を広げることにより、適切な干し方ができるようになる。

【0013】挿入穴ないしは切り込みに入れられたハンガーは移動できないので、風によってハンガーが一箇所に集まってしまい乾燥し難くなるなどの問題が解消され、むしろハンガー間隔が常時確保されているため風が生かされて洗濯物の乾きが促進されるメリットを享受でき、干す時間が短縮できる。

【0014】図5で示す様に、壁面がある作業環境であっても、落下の危険は極めて小さくなり、安全で効率良く作業ができる。

【0015】図7の上の2つに代表されるように、従来のハンガーでは、洗濯物を吊るして行く場合、全体のバランスに配慮しながら洗濯物を吊るして行かないと、ハンガーが傾いたり落下したりして作業がし難かったが、本発明の万能連風ハンガー吊りを使用すると、殆どバランスに気を使うことなく行え、作業性が大きく改善できる。

【0016】洗濯場からベランダなど屋外への持ち運び

する場合、ぶら下げた洗濯ハンガーが大量だったり、重かったり、長さのある洗濯物だったりした場合は、肩に担いで運ぶことができるため、極めて運搬し易くなり、危険性や気をを使う負担が軽減される。

【0017】ロングハンガーによりバスタオルやバスタオル相当の横幅の長い洗濯物も干し易くなり、小物も1つのハンガーで沢山収容できるので作業性もよくなり、洗濯を干すことに要する時間を短縮できる。

【0018】また、バスタオル、シーツ、ジーンズなどの大型洗濯物のため、従来は多くの物干し竿を必要としていたが、ロングハンガーで干せるようになり物干し竿の本数を減らすことができ、干し場のスペース効率を高めることができる。

【0019】図7の上の2つに代表されるような従来ハンガーの収納性の悪さが大きく改善され、コンパクトな収納に加えて扱いも極めて容易になる。

【0020】クリーニング店に出した時に付いてくるワイヤーハンガーは、壁面のある桟にかけて使用する場合、上部の吊り下げ部（図5の41に相当）を90度曲げて使用しなければならず、90度曲げたワイヤーハンガーを物干し竿に吊り下げる時は、今度は90度曲げて元に戻す必要がある。本発明の万能連風ハンガー吊り具を使用すれば、曲げたり戻したりは一切不要であり、クリーニング店からのサービス品であるワイヤーハンガーを極めて有益に利用できる。

【0021】また、クリーニング店からワイヤーハンガーに掛けられて戻ったクリーニング物を、そのまま、本発明の万能連風ハンガー吊り具に掛けておくこともできる。こうした時も垂直方向で使用する場合は、洗濯物を吊り下げる時と同様に、丈の長い物から順に本発明の万能連風ハンガー吊り具の上部から吊り下げるることにより折れのない保管と極めてスペース効率の高い保管を実現できる。

【0022】洗濯物を干すことに関する作業全般が大幅に改善でき、洗濯に要するトータル作業時間を削減できる。

【0023】

【図面の簡単な説明】

【図1】基本図を示す。1は吊るし部、2は吊るし部1と洗濯ハンガー掛け部3の接続部、3は洗濯ハンガー掛け部、4は洗濯ハンガーを掛けるための貫通穴ならびに切り込み部、9は吊るし部の上部と下部の可動接続部で、図5および図7の垂直使用時の安定化を目的とする。

【図2】図1の正面図で示す水平方向の使用に対して、垂直方向での使用例を示す。1、2、3、4は図1に同じ、5は洗濯ハンガーの吊るし部、6は洗濯物。

【図3】物干し竿へのぶら下げ例を示す。7は物干し竿を示す。

【図4】ロングハンガーを示す。41は吊るし部、45

5

は42、43と一体となったハンガー部で41と45の接続部は45に対して90度回転できる。42、43は45と一体となったハンガー部、43の下部はバスタオルが掛けられるサイズを有する。44は洗濯バサミを示す。

【図5】屋内使用（垂直使用）例を示す。1、2、3、4、5、9は図1に同じ。51は壁や柱など、52は洗濯ハンガーと洗濯物、53は床面に設置する安定機構、54は洗濯ハンガー掛け部3を安定機構53に固定するためのハンガー掛け部固定機構、56は床面に接地する翼部、55は翼部56を安定機構53に固定するための翼固定機構を示す。本例では、収納を考慮してハンガー掛け部3に対して安定機構53を着脱可能としている。

【図6】コンパクト化を示す。61、62、65は洗濯ハンガー掛け部、63、64、66、67は留め具である。上段は2つ折りの場合、下段は3つ折りの場合を示す。

【図7】従来ハンガーを示す。71は吊るし部、72は洗濯バサミ、74は棒、75は洗濯物、76はハンガー、77は物干し竿、78は折り畳み部、79は外枠を

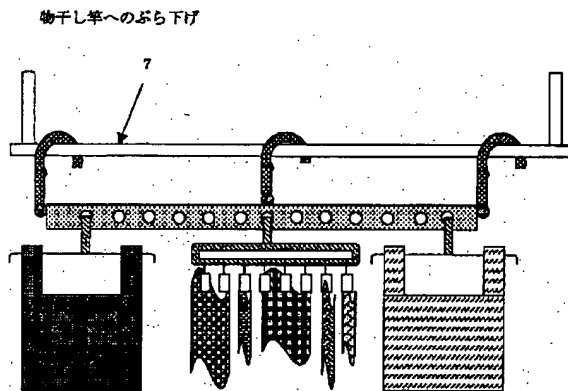
【符号の説明】

- 1は吊るし部
- 2は接続部
- 3は洗濯ハンガー掛け部

6

- 4は貫通穴および切り込み
- 5は洗濯ハンガーの吊るし部
- 6は洗濯物
- 7は物干し竿
- 9は吊るし部1の中間に位置した可動部
- 41は吊るし部
- 42および43は接続部と一体となったハンガー部
- 44は洗濯バサミ
- 45は42、43と一体となったハンガー部
- 51は壁や柱など
- 52は洗濯ハンガーと洗濯物
- 53は安定機構
- 54はハンガー掛け部固定機構
- 55は翼固定機構
- 56は翼部
- 61、62、65はハンガー吊り部
- 63、64、66、67は留め具
- 71は吊るし部
- 72は洗濯バサミ
- 74は棒
- 75は洗濯物
- 76はハンガー
- 77は物干し竿
- 78は折り畳み部
- 79は外枠

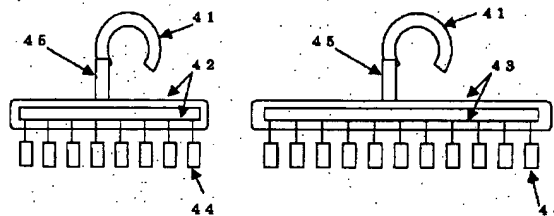
【図3】



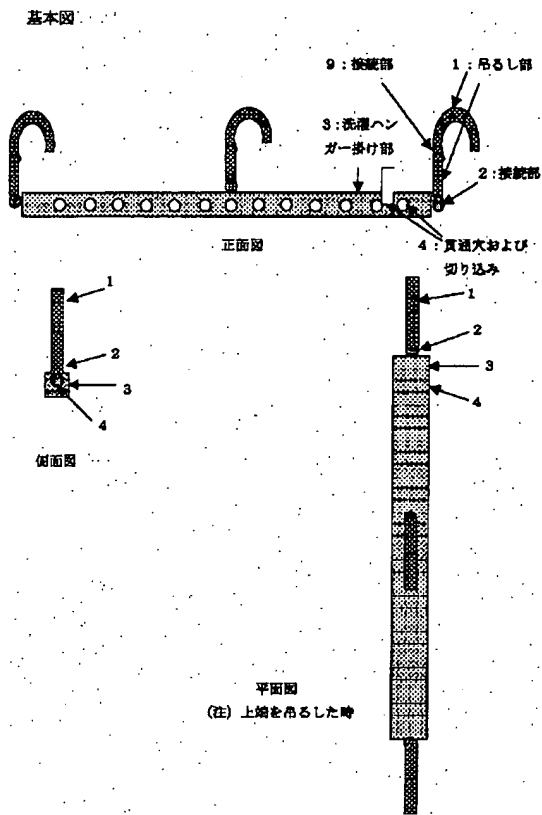
(注) ハンガーが平面図になっていますが、実際は垂直です。(90度回転します)

【図4】

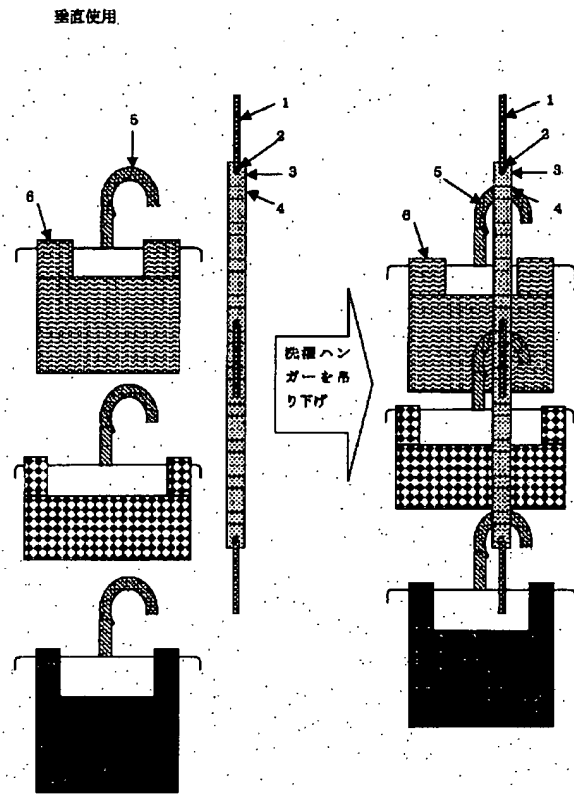
ロングハンガー



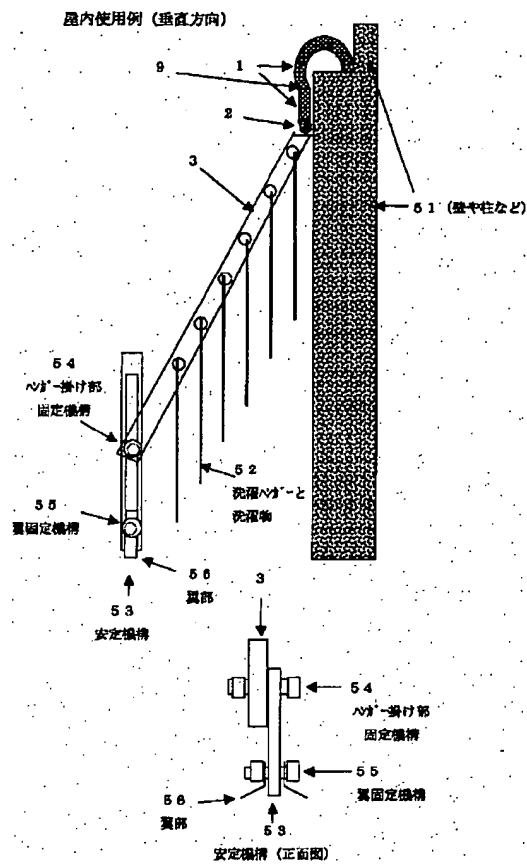
【図1】



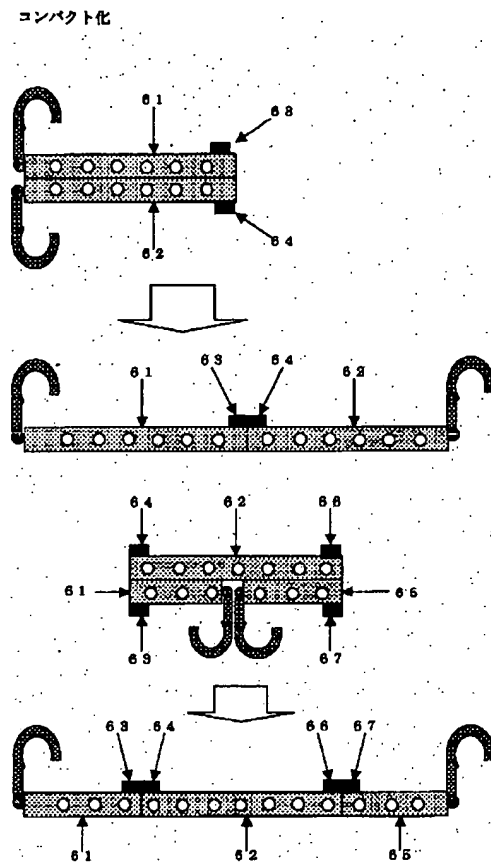
【図2】



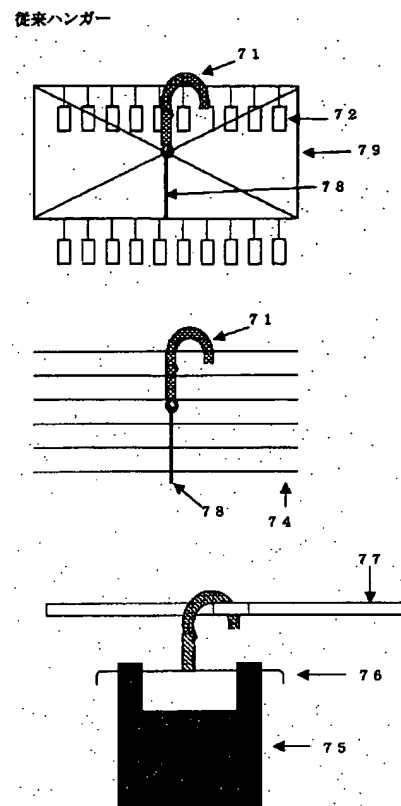
【図5】



【図6】



【図7】



フロントページの続き

(72)発明者 内堀 亮介
 栃木県宇都宮市下河原1-2-8ドミール
 河原501号

(72)発明者 内堀 綾香
 栃木県宇都宮市下河原1-2-8ドミール
 河原501号

DERWENT-ACC-NO: 2003-816834

DERWENT-WEEK: 200377

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Hanger for drying clothes, has suspension frame with multiple through holes and hooks with connectors, such that auxiliary hanger with clothing is fixed to connectors by inserting into the holes

PATENT-ASSIGNEE: UCHIBORI H[UCHII]

PRIORITY-DATA: 2001JP-0304195 (August 25, 2001)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-
IPC				
JP 2003062395 A	March 4, 2003	N/A	007	D06F
057/12				

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP2003062395A	N/A	2001JP-0304195	August 25, 2001

INT-CL (IPC): D06F057/12

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2003062395A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - The hanger includes a suspension frame (3) with multiple through holes (4). Several hooks (1) with connectors (2), are rotatably provided in the suspension frame. The auxiliary hanger with clothing, is fixed to the connector, by inserting through the holes at preset interval according to size of clothing.

USE - For drying clothes such as bath towel and accessories in outdoors, by fixing the hanger to wall, cloth pole, pillar.

ADVANTAGE - Several auxiliary hangers are detachably and easily attached to suspension frame. Drying of clothes is enabled easily.

**DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the schematic views of hanger.
(Drawing includes non-English language text).**

hooks 1

connectors 2

suspension frame 3

through holes 4

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/7

**TITLE-TERMS: HANGER DRY CLOTHING SUSPENSION FRAME MULTIPLE THROUGH HOLE HOOK
CONNECT AUXILIARY HANGER CLOTHING FIX CONNECT INSERT HOLE**

DERWENT-CLASS: F07

CPI-CODES: F03-J01;

SECONDARY-ACC-NO:

CPI Secondary Accession Numbers: C2003-227852